



成年後見制度及び市民後見人制度と 窓口業務DXについて

平井 玲子 議員



成年後見制度及び市民後見人制度について

ます。

人制度について

質問 市民後見人の育成・支援に関する課題をどのように捉えていますか。

答弁 市民後見人には重い法的責任が伴う上、負担が大きいことから、養成講座を修了された方でも実際の活動へ踏み出せない方もい

質問 市民後見人が成年後見人に就任すると、多岐にわたる手続を各窓口で個別に行うため、手続が煩雑で、大きな負担となっているのが現状です。成年後見人等の送付先住所変更に係る手続の一括登録(届出)について、導入する考えが

ありますか。

りますか。

答弁 関係各課との調整を進めながら検討していきたいと考えます。

窓口業務DXの進捗と今後の方針について

質問 コンビニ交付は、窓口より発行コストが低いことから、他の自治体ではコンビニ交付の手数料を減額し、利用促進につなげています。コンビニで交付できる証明書の種類は、自治体によって違いがありますが、コンビニ交付の手数料につ

いて、減額する考えがありますか。

答弁 現在40%を超えているコンビニ交付の利用率のさらなる向上を目指し、窓口の混雑緩和やマイナンバーカードのより一層の活用、動機づけを図るため、前向きに検討していきたいと考えます。

質問 職員の時間外労働の負担と窓口開庁時間の見直しに関する、市長の考えを伺います。

答弁 窓口対応が必要な部

署は、始業前の準備や終業後の片づけに時間を要するものと認識しています。

窓口開庁時間の見直しは、サービス品質の向上や職員の働き方改革等の観点から有効な取組であると考えます。市民サービスへの影響が生じないよう、協議を重ねながら、開庁時間の短縮に向けた検討を進めていきたいと考えます。



本市のヤード対策についてと 少子化問題について

岡野 陽子 議員



ヤード規制条例を定めた他県から、本市に拠点

を移す業者が増えてきています。本市に存在するヤードの現状と区分の把握は。

答弁 市内10カ所のヤードはスクラップヤードだと認識しており、新たなヤードの開業情報も得ていますが、区分は把握していません。

要望 ぜひ本市独自の実態把握をお願いします。

質問 近隣に突如出現したヤードに住民は不安を抱えています。将来の安全な市民生活のための対応について伺います。

答弁 国では昨年からはヤード環境対策検討会が設置され、法改正に向け検討が行

われており、県でもヤード事業者を全般的に規制する条例の制定に向け準備が進められています。これらの動向を注視し、県の担当部局との情報共有を図ります。

意見 私が所属するフォーラム館林では「館林市再生資源物の屋外保管に関する条例制定に向けた特別委員会設置に関する動議」という書面を11月28日に開催さ

れた議会運営委員会に提出しています。市独自の条例制定が難しいようであれば、

既存の環境基本条例をブラッシュアップし、対応する方法も検討をお願いします。ぜひ市民の立場に立った規制をしてください。

質問 本市の令和6年の出生者数は309人と、人口減少は想像を超えて深刻です。今までの少子化対策について伺います。

答弁 これまで様々な少子化対策に取り組みましたが、国内の傾向と同様に、合計特殊出生率の低下や出生数の減少が見られます。

質問 10年後の学校教育の状況について伺います。

答弁 市全体では概ね10年後には、児童生徒数が約4割の減少となる見込みです。

質問 館林市学校適正規模・適正配置審議会での審議内容等について伺います。

答弁 適正規模は小学校全学年2学級以上、中学校全学年3学級以上、適正配置は通学時間40分以内等の現時点での整理がなされ、来年度以降、慎重に検討していただく事項だと考えます。